

令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立小立野小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	25.0	54.0	16.0	5.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	72.0	25.0	4.0	0.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	48.0	41.0	9.0	2.0	0
問4	英語の授業の内容が分かる。	56.0	38.0	6.0	0	0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	32.0	53.0	14.0	1.0	0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	27.0	57.0	16.0	0	0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	80.0	14.0	6.0	0	0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	79.0	17.0	4.0	0	0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	80.0	17.0	2.0	0	0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	37.0	52.0	10.0	1.0	0

②指導改善の具体策

英語の勉強が好きな児童が増えるよう、児童が英語の楽しさや有用性を実感できる授業を目指す。アンケートの記述回答から、学習内容の理解が難しいと感じている児童がいることや、習い事で英語を学習している児童の中には授業で十分満足していない児童がいることが分かった。そこで、どの児童も充実感を得られるよう、その単元に重要な表現を確実に習得させることに加えて、目的や能力に応じて既習表現を使って質疑応答するよう促すなど、個別最適な学びの機会を設けたいと考える。

③学校関係者評価

問1「英語の勉強が好きだ」の肯定的解答の割合は79%で昨年度より12ポイント上がっており、最近三年間でも上昇傾向が見られる。英語の勉強が好きな児童が増えてきた要因としては、実際の生活と結びつけて英語を使う場面を授業に取り入れ、有用性を実感させてきたことが考えられる。問2の結果からも、児童が授業を通して英語の実用性を感じることができたことが考えられる。

アルファベットを書く活動も、実用性を感じさせながら進めてほしい。